



2021年4月8日

各位

会社名 株式会社 長大
代表者名 代表取締役社長 永治 泰司
(コード番号 9624 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員 塩釜 浩之
経営企画本部長
(03 - 3639 - 3465)

エアモビリティ株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

株式会社長大(東証一部上場、証券コード 9624、以下「当社」といいます。)は、2021年3月30日、エアモビリティ株式会社(代表取締役:浅井 尚 本社:東京都新宿区、以下「エアモビリティ社」といいます。)が行った第三者割当による新株の発行(以下「本第三者割当増資」といいます。)を新たに引き受け、資本業務提携(以下「本資本業務提携」といいます。)を開始いたしましたことを下記の通りお知らせいたします。

記

1. エアモビリティ社との資本業務提携の背景

当社は、瀬戸大橋の実現を夢見た技術者たちが、「技術力を第一とする本来のコンサルタント」となることを目指して、「中立公正」を旗印として1968年に創業、50年余を経た今、当社は世界最高峰の橋梁設計技術を強みとする総合建設コンサルタントグループに成長いたしました。

次なる50年の経営環境は、これまでとは全く異なることが予想され、国内では超高齢化社会に対応した新たな国土づくり、安心して暮らせるまちづくりに加えて、新技術を活用した魅力あるまちづくりの推進が期待されています。

その中でも、従来の空の移動を根底から変革する近未来のモビリティとして「空飛ぶクルマ」は世界的にも関心の高まりがみられ、世界各国で取組が進められています。

我が国においても「空飛ぶクルマ」により人や物の移動の迅速性と利便性を向上させるとともに、新たな産業を育成するため、経済産業省や国土交通省の主導で官民の関係者が一堂に会する「空の移動革命に向けた官民協議会」が2018年8月より開催され、その実現に向け様々な検討が進められています。このような背景を踏まえ、当社では、「空の移動革命に向けた官民協議会」の一員でもあり「空飛ぶクルマ」の実現に向け多方面で展開するエアモビリティ社との資本業務提携を行い、「空飛ぶクルマ」の実現に寄与し世界に先駆けた未来都市の実現を推進して参ります。

2. 本資本業務提携の内容と目的

(1)本資本提携の内容

今般、エアモビリティ社が本第三者割当増資により新株式を発行し、新たに当社が引き受けることで合意いたしました。

(2)本資本業務提携の目的

①新たな事業領域の拡大

当社は「長期経営ビジョン 2030」の実現の足掛かりの一つとして、これまでの建設コンサルタントとしての事業領域であった、橋梁、道路、交通、環境、都市計画、建築物、港湾河川分野に「空」を加え、これまで当社が関与してきた我が国の交通・道路分野における基幹システムである ITS(高度道路交通システム / Intelligent Transport Systems)の総合的なシステム体系構築のノウハウや、ITS の各開発分野におけるサービスメニューの設計を行った経験と実績を有しております。これらを活かし、我が国の空飛ぶクルマ領域でのインフラ整備に関しても、ITS と同様に総合的なシステム体系構築を行い、今後必要な開発分野におけるサービス設計を行うことで、安心して「空飛ぶクルマ」を利用できる環境を構築することを目指します。

さらに、エアモビリティ社と連携・協業を図ることで、地方創生の流れのなか当社グループが展開するスーパーシティ構想「長大タウン構想」の推進に向け、市町村等の地方自治体の新たなまちづくりに関する様々なニーズに両社で対応し、企画提案を行うなどの事業シナジーを生み出して参ります。

②サービスプロバイダー層の推進

現在当社グループでは、長期経営ビジョン 2030 に「長大タウン構想」を掲げていますが、これらは世界に先駆けた未来都市を表し、国が掲げるスーパーシティ構想を更に高度化させ、すべてのサービスとヒト、モノ、カネのシームレス化やデータ連携、それらを支える高度なインテリジェントインフラにより構成されます。長大タウン構想の実現に向けては国が進めるスーパーシティ構想を実証フィールドとし、当社グループが持つ様々なインフラ、IT、再エネ技術に革新的スキームやサービスを実装することにより未来のまちづくりを実現させます。

また、この度資本業務提携を行うエアモビリティ社は、未来のまちに必要な「空飛ぶクルマ」を実現するための、機体販売のプラットフォームと運行に必要なプラットフォームの実装を目指しています。エアモビリティ社と連携を行うことで、空飛ぶクルマの実装のために必要な制度設計や課題解決、空飛ぶクルマの利用のために必要な地上インフラとの連携や新たなバーティポート(eVTOL 垂直離着陸機用の離発着ターミナル)の整備等を提案し、国内での空飛ぶクルマの実現に寄与します。これによって、既存業務および新たな業務分野の受注を拡大し、より積極的かつ戦略的な事業展開を目指していきます。

③当社グループ子会社との協業・連帯体制の構築

当社グループが掲げる長期経営ビジョン 2030 の実現に向けて、新事業の創出やイノベーションが必要になります。エアモビリティ社との連携により、当社グループ子会社であり、新たなモビリティシステムを開発、展開し様々なサービスを提供する順風路株式会社が有するオンデマンド交通の配車サービスとの連

携による事業提案等につなげることで、当社グループ全体の売上を向上させます。

3. エアモビリティ社 会社概要 (2021年3月29日現在)

会社名	エアモビリティ株式会社
代表者	代表取締役 浅井 尚
所在地	東京都新宿区舟町 7-40 ACN 四谷三丁目ビル 2F
設立	2019年8月1日
資本金	3,925万円
従業員数	10名
事業内容	空飛ぶ自動車関連サービス・商品の輸出入、企画、製造、販売およびそれに付帯する事業

4. 今後の見通し

当社連結業績への影響は軽微であると考えております。

5. その他関連情報

■当社が関わるスーパーシティ構想関連ニュース

⇒ [未来都市を実現する内閣府主催「スーパーシティ・オープンラボ」に加入しました | お知らせ | 株式会社 長大 \(https://www.chodai.co.jp/news/2020/06/014178.html\)](https://www.chodai.co.jp/news/2020/06/014178.html)

⇒ [イーグルペイ株式会社との資本業務提携によるスーパーシティ構想の推進 | お知らせ | 株式会社 長大 \(https://www.chodai.co.jp/news/2021/01/014354.html\)](https://www.chodai.co.jp/news/2021/01/014354.html)

以上